

杉並区の過去60年における児童・生徒数及び学校数の推移は、図1のとおりであり、児童・生徒数は、昭和30年代のピーク時に比べ、現在は半分以下に減少しているものの、学校数は減少していないことがわかる。

また、義務教育年齢に達していない就学前人口の推移と今後の見通しは、図2のとおりであり、近年は増加傾向にあるものの、平成25年度をピークに減少に転じると予測されている。

図3及び図4は、過去5年間の児童・生徒数だが、小学校、中学校ともにほぼ横ばいで推移している。就学対象人口に対する区立校在籍者の割合は、小学校が

図1 過去60年における児童・生徒数及び学校数の推移

